

# 病児保育室「あんず」のチョットアノネ

No. 85 (2024. 6. 20.)

テーマ：終わらない新型コロナウイルス感染症

## 今も続く新型コロナウイルス感染症)

昨年5月8日から新型コロナウイルス感染症は感染症第5類に移行(季節性インフルエンザと同様の扱い)になりました。新型コロナウイルス感染症の第9波の流行はおさまりましたが、現在も宮城県内では毎週250~300人の患者さんが報告されており横ばいの流行状態が続いていますので油断はできません。新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、咳嗽、頭痛、筋肉痛、関節痛、鼻水、下痢、味覚・臭覚障害、倦怠感、咽頭痛、息苦しさなどで、多くの場合は感染してから2~3日で現れます。発症後3日間はウイルスが増殖しますが、5日経過した頃からウイルスは減少します。一般的には発症後5日間は安静隔離が必要とされます。感染しても多くは未治療あるいは適切な治療で回復しますが重症化し酸素投与や集中治療が必要になる場合もあります。

## 重症化しやすい人、重症化の予防

重症化しやすいには65歳以上の高齢者、基礎疾患のある人、肥満の人などです。一般に女性より男性が重症化しやすいと言われています。重症化の予防としてはワクチン接種回数が多いほど予防効果があり、発症早期に抗ウイルス薬を使用することにより重症化を予防する効果があります。ただし、12歳未満に使用できる抗ウイルス薬はありません。

## 新型コロナウイルス感染症の後遺症

感染後、少なくとも2か月以上症状が続き、感染症が消失した後も、他の疾患による症状として説明がつかない場合は後遺症と呼んでいます。新型コロナウイルス感染症に罹患した人の10~20%に後遺症がみられます。倦怠感や筋力低下、集中力低下、睡眠障害その他の多様な症状がみられます。1年症状が続いた人が33.2%、3年以上も持続した人が5.7%あったという報告があります。一般に高齢者、女性、症状の重かった人に後遺症が多いと言われています。ワクチン接種は後遺症の発症を低減するという報告があります。また、抗ウイルス薬の早期投与により後遺症発症率が27.5%低下したとの報告があります。12歳未満には抗ウイルス薬は使用できません(子供に使用できる薬も研究中です)。まだ抗ウイルス薬も高価で3割負担の健康保険でも、最低1万5千円以上の自己負担が必要になります。

## 新型コロナ後遺症でみられる症状



## 現在流行している病気は何ですか？

宮城県内では：第1位 溶連菌感染症、第2位 新型コロナ、第3位 感染性胃腸炎  
亙理郡内では：第1位 感染性胃腸炎、第2位 溶連菌感染症、第3位 新型コロナ

## 大友医院病児保育室「あんず」より

最近急に暑くなりましたね。暑さのために熱中症になったり、冷たい物の取りすぎでお腹を壊したり、体調を崩しやすくなっています。昨年末から溶連菌感染症の大流行が続いていますし、新型コロナウイルス感染症の流行も横ばいで続いています。そして手足口病やヘルパンギーナ、プール熱などの夏かぜも少しずつ出てきました。まもなく梅雨に入りますから、毎日規則正しい生活を送り、十分な睡眠を取って元気に過ごせるようにしましょう。そして健康に気をつけましょう。



病児保育室「あんず」専用電話 0223-35-6455